

町民活動団体紹介 20

より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介しします

団体名 野木山想会

◆活動内容

1. 日本(海外含む)の山と自然を対象に、各山行ごとにグループを結成し、年間合計300回以上の山行を実施。
2. 安全山行を重視し、9段階の講習会を用意。
3. 「足尾に緑を」その他大平山・日光山域のクリーンハイク等を年4回実施。
4. 三陸・佐野・栃木等、災害ボランティアに参加。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

◆活動日 毎月第1水曜日 19時～21時30分
野木町公民館で定期会合、山行打合せ等

◆活動場所 公民館で月例会

◆会員数 96名

◆ひとこと 安全で楽しく豊かな山行を目指し、野木町を中心とした近隣の登山・ハイキングを愛好される方々の入会をお待ちしています。

・当団体のことにつきましては…問大貫 恵一 ☎ 080(3250)4104

みなさんも楽しく、元気に町民活動、ボランティア活動に取り組んでみませんか。
ご興味のある方は、ボランティア支援センターきりり館まで、お気軽にお問い合わせください。

・町民活動等につきましては……問ボランティア支援センターきりり館 ☎ 0280(23)1231

広報連絡委員レポート №415

入浴でリフレッシュ



広報連絡委員
老沼 光子

今年もまた年賀状を書く季節がやってきました。毎年のことですが、いつまでも何を書いたら良いのか決まらず迷っているうちに、結局いつも遠方の友人には、「お元気ですか。今年こそは会いたいですね。」実に40年近く同じ言葉です。しかし、今年はいよいよ友人の一人から連絡があり会うことができました。

また、新型コロナも騒がれていませんでしたので、会話が弾み4時間以上も一緒に楽しい時間を過ごすことができました。「お互いに家族に高齢者がいるため、旅行へ行くこともできないけれど、できれば温泉に行きたいね。」と温泉の話題になりました。私が教科書で読んだ、志賀直哉の小説「城の崎にて」の城崎温泉に行ってみたくて旅館を予約しましたが、急遽予定が入り行けなかったことを話すと、偶然にも友人も城崎温泉に行きたくて予定を立てたのですが、まだ実現していないとのこと

でした。

温泉に入って体をゆつくり休めることが、私にとって働くための特効薬なのですが、そう頻繁に温泉へ行くことができないので、私は家のお風呂にその日の気分で入浴剤を替えて、温泉気分を味わい一日の疲れを癒すことが楽しみです。お風呂の中で明日は何をするのか考えを巡らすことが私の日常ですが、こうして毎日普通に暮らせることが一番だとつくづく感じています。

心配性の私は、GOTOトラベルとは言え、コロナ禍の中では暫くお預けなので、仕事を早く終わりにして、お日様が出ているうちにお風呂に入って、温泉旅行気分です。このように時だからこそ「休む」ことは大切なことだと思います。

コロナ禍が長期化し塞ぎがちになつてしまいますが、明るい明日が来ることを信じて、日々の生活を送りたいと思います。

